

【1 九重町 Kokonoe Town】



指原 孝治氏

くじゅう連山の星生山から

九重町では、南部にそびえる涌蓋（わいた）山やくじゅう連山（一目山、獵師山（岳）、合頭山、黒岩山、沓掛山、星生山、三俣山など）から、阿蘇の北外輪山越しに“北東面の雲仙岳”が眺望できます。これらの山々からは、阿蘇の中央火口丘も眺望できるため、阿蘇山と雲仙岳の間の歴史的な大三角形（※阿蘇地域のページ参照）を視覚的にイメージすることが可能です。

九州を横断する火山の列は、くじゅう連山から西の方へ阿蘇山、金峰山、雲仙岳へと、概ね一直線上に並びますが、これらの山々をつなぐように計画された車道が“九州横断道路”です。昭和2年、“別府観光の父”と呼ばれた油屋熊八氏によって、上記の山々を結んで国立公園にする「九州一大国立公園構想案」が提案され、昭和39年、別府～本町を含むくじゅう連山～阿蘇山～熊本～雲仙岳～長崎をつなぐ九州横断道路（一部は“やまなみハイウェイ”）として完成しました。くじゅう連山と阿蘇山、雲仙岳は、昭和9年に国立公園（現名称：阿蘇くじゅう、雲仙天草）として指定され、平成26年にはともに80周年を迎えています。

また本町では、九州各県をネックレスのようにつないで一周するトレイル“九州自然歩道”が縦断しており、くじゅう連山から遥か雲仙岳まで、トレイルは続いています。くじゅう連山の区間では、獵師山や黒岩山、星生山など山々の間を縫うように通りますが、各山頂に足をのびして雲仙岳が眺望できれば、九州島のスケールを体感しながらトレイルを楽しむことでしょう。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、九重町内を旅してみませんか？

●九重町の観光情報はこちら ⇒ 九重町観光協会 <http://www.kokonoe-k.com/>



牛島 新五氏

星生山から（形状の似ている阿蘇北外輪山の鞍岳と雲仙岳）